

SANSHIN GROUP
Monthly Report on the ESG
Oct.2023



INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report (品質)
4. ESG Report (環境)
5. ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンホウ

TOP MESSAGE

長引く宇露戦争に続き、イスラエルとパレスチナ地区の戦争も勃発してしまった。報道番組では、爆弾のさく裂をみない日は皆無である。戦争の異常が、世界の日常となりつつある。戦争により人の命、日常生活、環境が日々奪われている。一方、EV車など環境保全が世界的に推進されている。これら相反する事象を、同じ時代に、同じ人類が、並行して行う。我々はあまりにもキッチュな時代に生きている。

サンシングループCEO
博士（経営学） 石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

インフルエンザが流行しています。コロナ対策で感染症の流行が長らく抑えられていましたが、それにより十分な免疫を持たない人が増え、5類への移行・感染対策の緩和・新学期の開始などいろいろな条件が複合的に作用して流行に至っているようです。罹患しやすい環境であると言えますので、皆様くれぐれもご注意ください。(Y.Y.)

SANSHIN Hong Kong

今年の夏は、香港より日本の方が暑かったのではないかと思える。しかし、また香港の寒い冬がやってくる。日本に比べると大した寒さではないが、エアコンも冷房のみで暖房の機能がない。本来なら、こたつがあれば、日本の冬を気分的に体感できるのだが。。。(A.A.)

CSI

バナナキュー。やはりフィリピンといえばバナナ。特徴は短く太い「サババナナ」を使用します。皮をむき、3個程串に通して、素揚げし、ブラウンシュガーをかけ、再び揚げた一般的なスイーツです。私もよく食べます。(K.S.)

SANSHINWest

今年の猛暑日(最高気温が35℃以上)は東京で23日、大阪では28日もありました(6~9月)。30℃以上の真夏日も含めると各地点とも約90日と、1年間で4分の1が暑かったということになります。10月に入りようやく涼しくなってきましたが、今度は寒暖差で体調を崩さないよう皆様お気を付けください。(Y.S.)

SHINKOWA

10月も半ばになり朝晩が涼しく秋らしくなってきました。八街の名物落花生の収穫も終了して、落花生を乾燥させているポッチ(収穫した落花生の野積み)が沢山みられます。夏場に台風などの影響もなく収穫は良好のようです。(M.N.)

SC2

【アスピリン喘息に注意】風邪の季節です。発熱すると解熱鎮痛薬のお世話になりますが、アスピリン喘息には気をつけましょう！解熱剤を飲んで咳が止まらない・蕁麻疹が出た時はすぐ病院へ。命に関わることもあります。食品添加物や人工香料で誘発されることも多いそうです。ご注意ください。(M.I.)

ESG Report (品質)

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

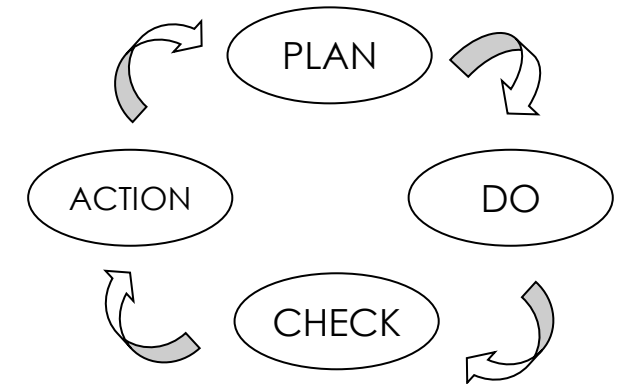
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

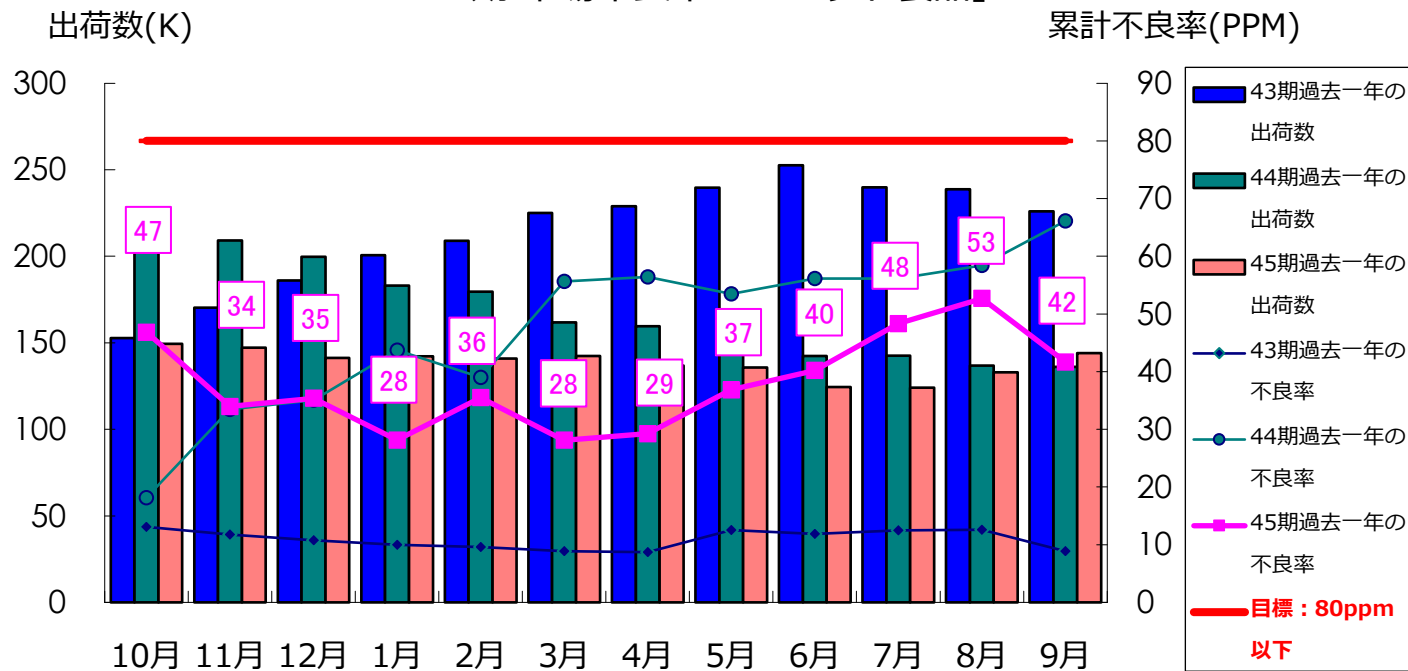
* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

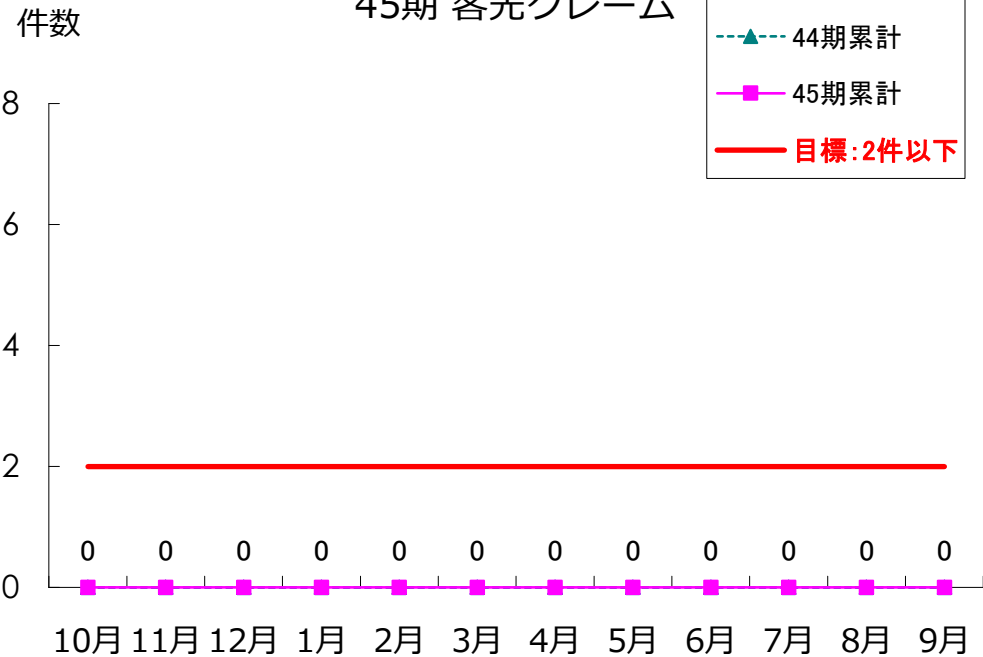
納入品不良率 (目標 : 80ppm)
 45期の累計不良率(解析依頼含む) : 42ppm

客先クレーム (目標 : 2件以下) : 0 件

45期 市場不良率「ユニット製品」



45期 客先クレーム



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

■ IEA、2050年までのネットゼロに向けたロードマップの最新版を公表

国際エネルギー機関（IEA）は9月26日、「Net Zero Roadmap（2023年更新版）」を公表しました。

本報告書は、IEAが2021年5月に発表した、2050年までに二酸化炭素（CO2）排出をネットゼロにするためのロードマップである「Net Zero by 2050」に、2021年以降の主要な進捗を加えたものです。

IEAによると、2022年の世界のCO2排出量は369億トンと過去最高となりました。新型コロナウイルスのパンデミック前の水準よりも1%増えましたが、クリーンエネルギー技術の普及加速により、化石燃料の需要はこの10年間のうちにピークを迎える見込みです。

表 2021年発表のロードマップ「Net Zero by 2050」からの主な目標の変更点

主要指標	単位	「Net Zero by 2050」 (2021年5月発表)		「Net Zero Roadmap (2023年更新版)」 (2023年9月発表)	
		2030年	2050年	2030年	2050年
エネルギー関連のCO2排出量	Gt	21.1	0.0	24.0	0.0
総エネルギー供給量に占める削減策のない化石燃料の割合	%	58	11	62	11
エネルギー最終消費量	EJ	390	340	410	340
太陽光発電の追加発電容量（年間）	GW	630	630	820	820
風力発電の追加発電容量（年間）	GW	390	350	320	350
自動車販売に占める電気自動車の割合	%	60	90	65	95
CO2回収量	Gt	1.8	7.7	1.0	6.1
据置型蓄電池設備容量	GW	590	3,100	1,020	4,200
エネルギー最終消費量に占める水素または水素由来燃料の割合	%	2	10	1	8

(出所) 国際エネルギー機関 (IEA) 「Net Zero Roadmap (2023年更新版)」

今月のTOPICS

クリーンエネルギー技術の進展については、太陽光発電の導入容量および電気自動車の販売台数が2021年に策定したロードマップに沿って堅調に伸びていると評しました。クリーンエネルギー関連技術の生産能力は急速に増加しており、2022年は蓄電池が前年比72%増、太陽光パネルは39%増、電解槽は26%増を記録しました。IEAは太陽光発電と蓄電池について、現時点で発表されているすべてのプロジェクトが履行された場合、2030年の中間目標をほぼ達成するとしています。

クリーンエネルギー技術の発展を評価する一方、2050年のネットゼロ達成のためには、2030年時点でCO2排出量を240億トンまで削減する必要があります。目標達成のカギとなるのは再エネ設備容量の増加です。2022年の世界の再エネ設備容量は3,629ギガワット（GW）でしたが、2030年には約3倍の1万1,008GWへ拡大することが必要になります。また、化石燃料の需要削減のためにも、CO2削減対策を行わない石炭発電所の新規承認の即時停止、油田やガス田の新規開発の不要をあらためて強調しています。また、クリーンエネルギー技術に対する投資は、2030年までに年間4兆5,000億ドル必要とし、2023年の1兆8,000億ドルから約2.6倍の増加が必要と指摘しました。

IEAは報告書において、当初のロードマップ「Net Zero by 2050」を策定した2021年以降の主な情勢の変化として、パンデミック後の経済活動の回復、エネルギー効率化政策の実施の遅れを背景に、2030年時点のCO2排出量やエネルギー最終消費量が増えた点を挙げ、「2050年までのネットゼロ達成への道筋は、当初のロードマップよりも険しい」と警鐘を鳴らしています。ただし、クリーンエネルギー技術の向上により道は開かれているとし、各国・地域による取り組み加速の必要性を示しています。

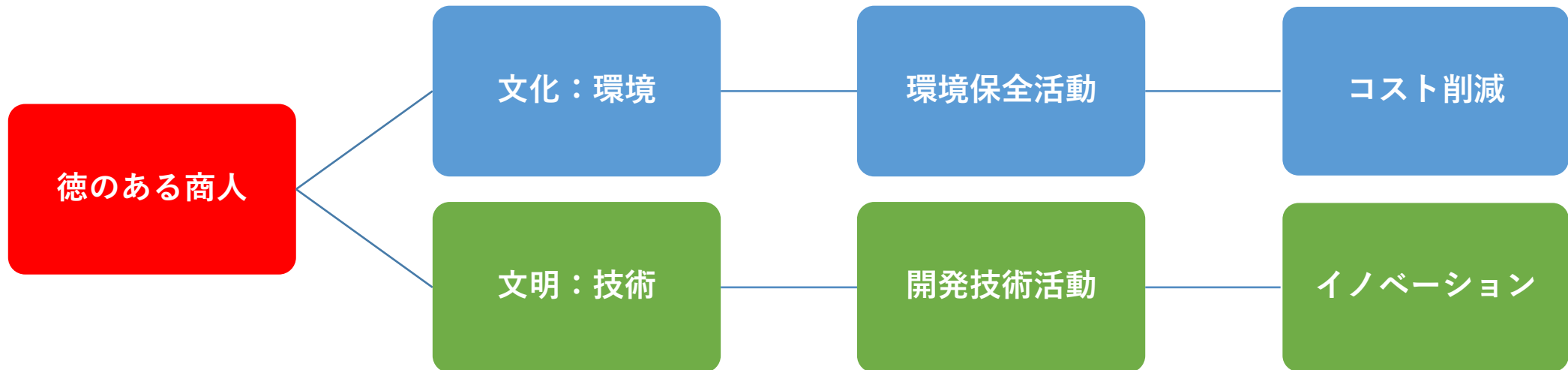
サンシングループ環境経営への歩み

1. 環境経営の基本マインド

* サンシングループ経営理念

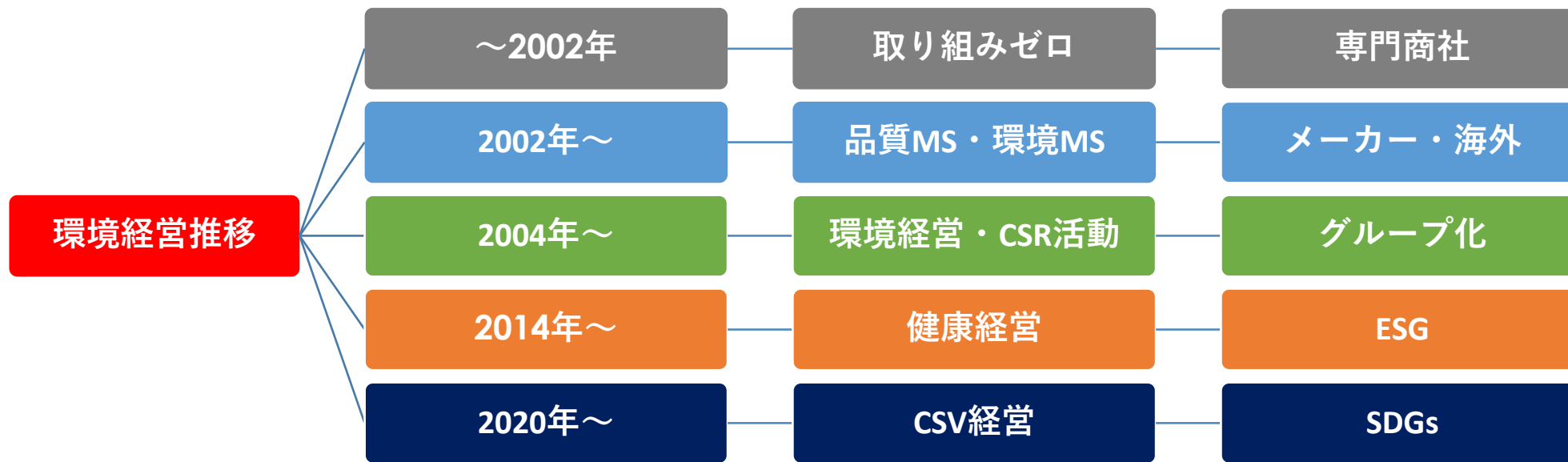
私たちは お客様を愛し お客様から愛される

徳のある商人を目指す：世界の**文化・文明**発展のために



2. 環境への取り組み

2002年から現在までの経緯



2. 環境への取り組み

～2002年

環境対応はコスト増の要因であり取り組む必要はないという認識。

2002年～

専門商社から海外商社，メーカーへと展開するなかで**環境MSを整備**。

2004年～

グループ企業体の発足に伴い**経営理念**を創設。 **CSRを能動的に展開**。

2014年～

健康経営を標ぼう，以後，東京都認定。

2020年～

CSV経営を宣言， **ESGとSDGs**を重視。

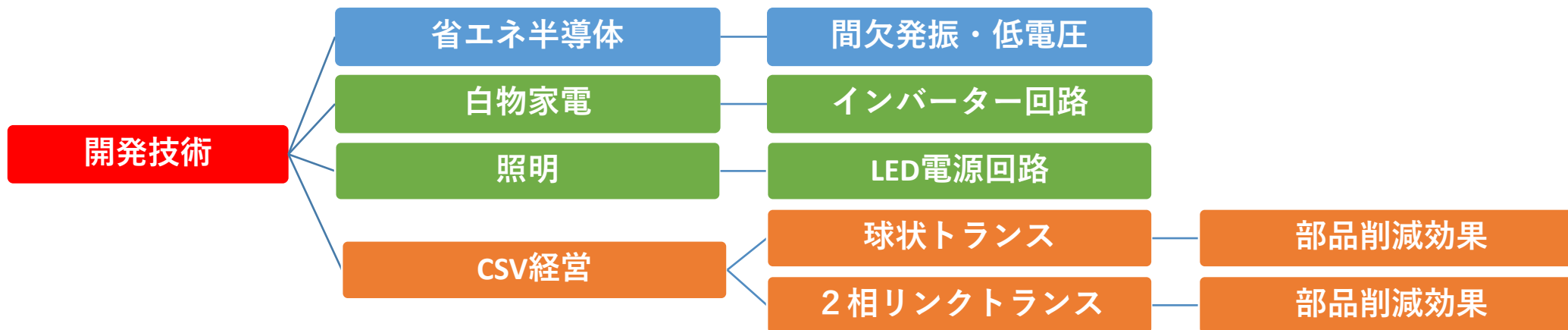
3. コスト削減実績

- 紙/ゴミ/電気, 三種の神器, 徹底削減の継続
 - テレワークによる電気/交通費削減
 - 環境MS監査費用は増加（リアルコスト）
 - 環境活動時間は増加（バーチャルコスト）
 - コスト削減費用と増加費用の差額をマネジメント
- ⇒ グループで年間約4,000万円※のコスト削減を実現！

※2004年度対比

4. イノベーション事例

- ・ 環境保全の開発技術ビジネス



4. イノベーション事例

省エネ半導体

専門商社として拡販

白物家電

白物家電向け**インバーター回路**の設計

照明

LED照明用の回路設計および電源製造

CSV経営

環境保全を鑑みた電子部品を**自主開発**

環境とイノベーションを結び付けた技術開発

CSV経営 モノ×コト = 価値創造

5. Scopeの対応

- Scope 1：該当なし
- Scope 2：電気排出量のみ（J/C/P合計）
『ESGレポート』掲載
- Scope 3：該当事項のみ集計
 - 4：輸送配送
 - 5：廃棄物
 - 6：出張交通費（旅費除く）
 - 7：従業員交通費

6. まとめ

- ほとんどのSME他社が取り組んでいない項目だからこそ「進取の精神」で取り組みます！
- 事業活動の中で可能な小さいことからコツコツ継続します！
- 環境保全活動はコスト削減とイノベーションのきっかけになります！
- サンシングループはこれからもサステイナブル企業としてサステイナブルな社会のために環境保全活動に取り組みます！



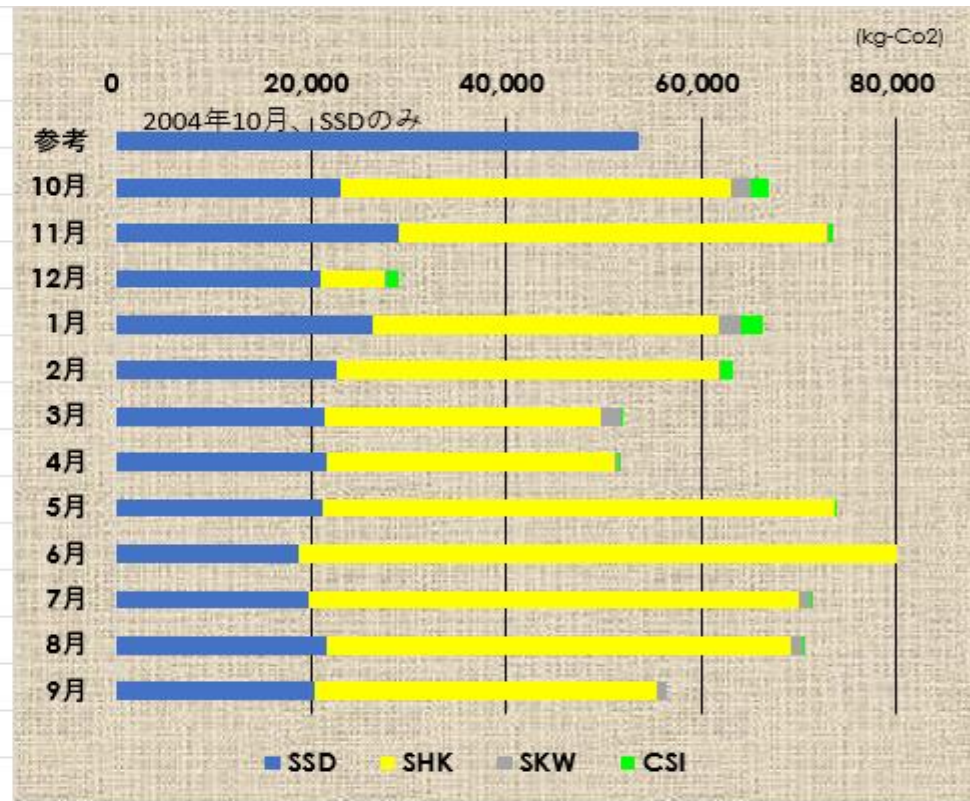
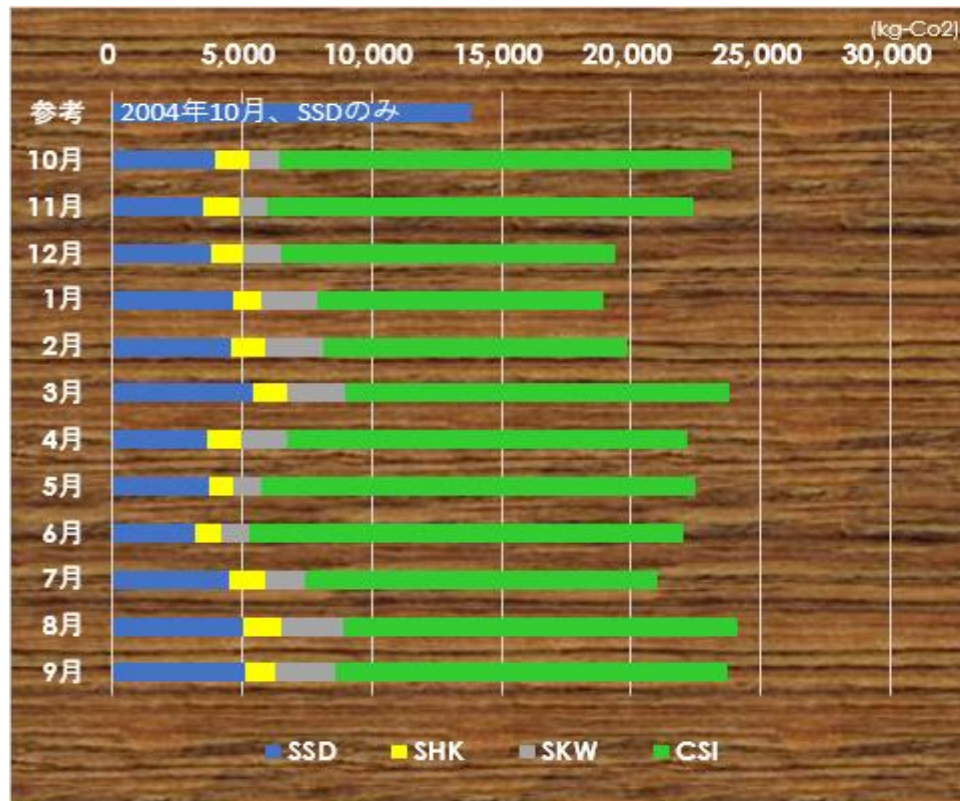
活動報告

- ① サプライチェーン排出量
- ② 廃棄物排出量
- ③ 電力使用量

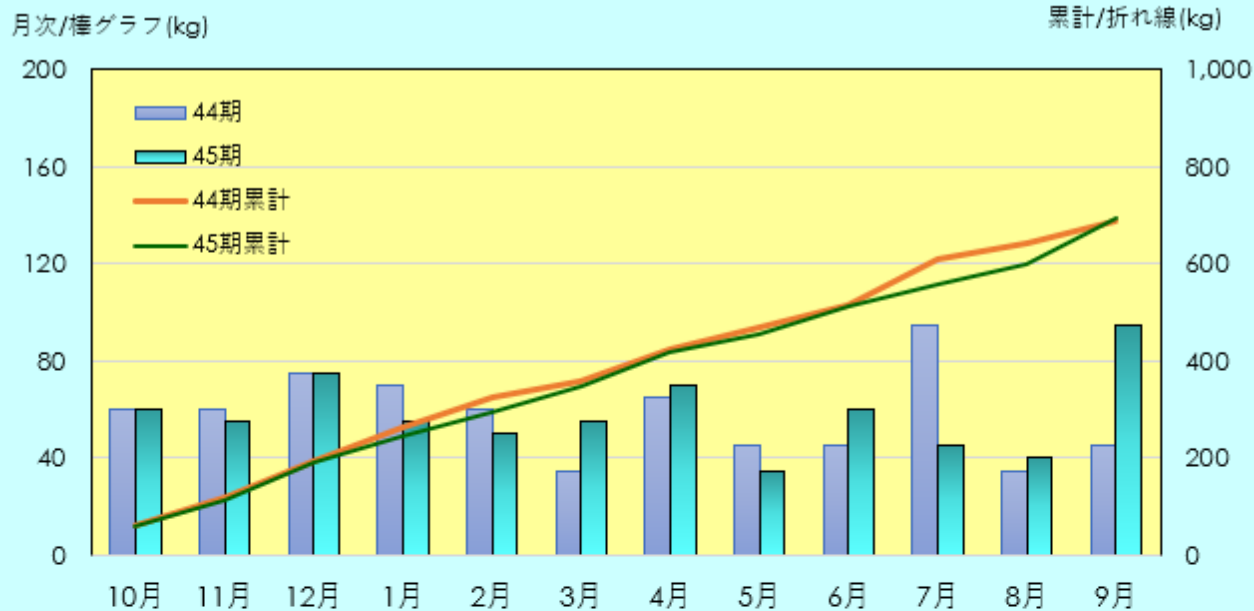
SSGサプライチェーン排出量

サンシングループではサプライチェーン排出量前年比▲5%に取り組んでいます

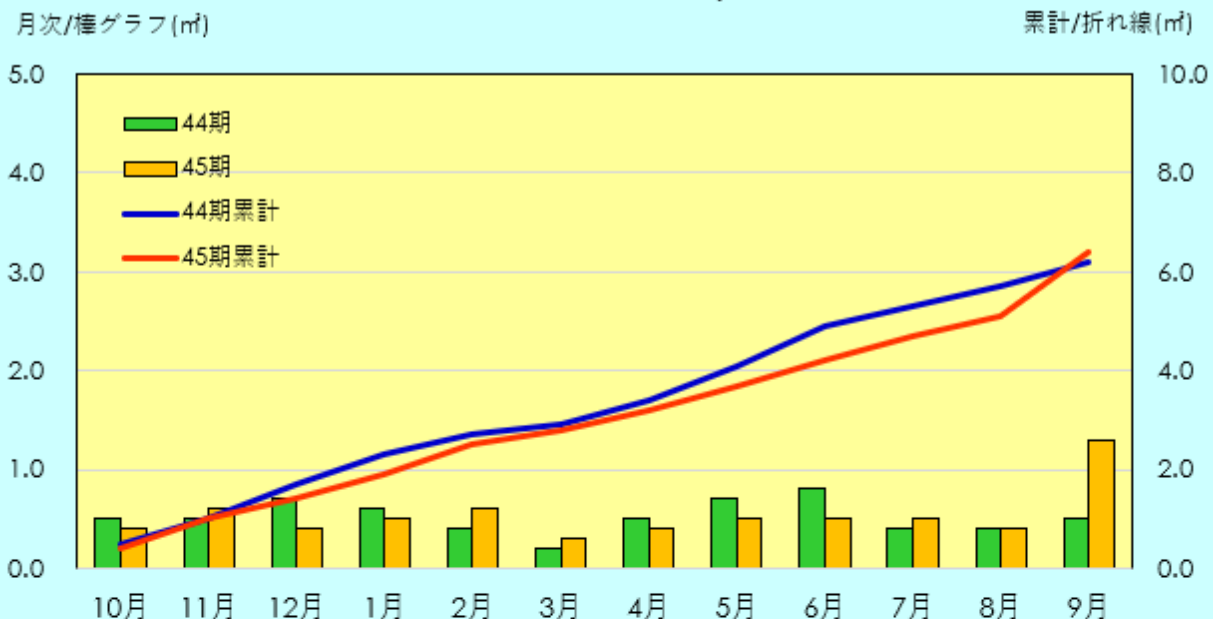
- Scope 1：該当なし
- Scope 2（他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出）
- Scope 3（事業者の活動に関連する他社の排出）



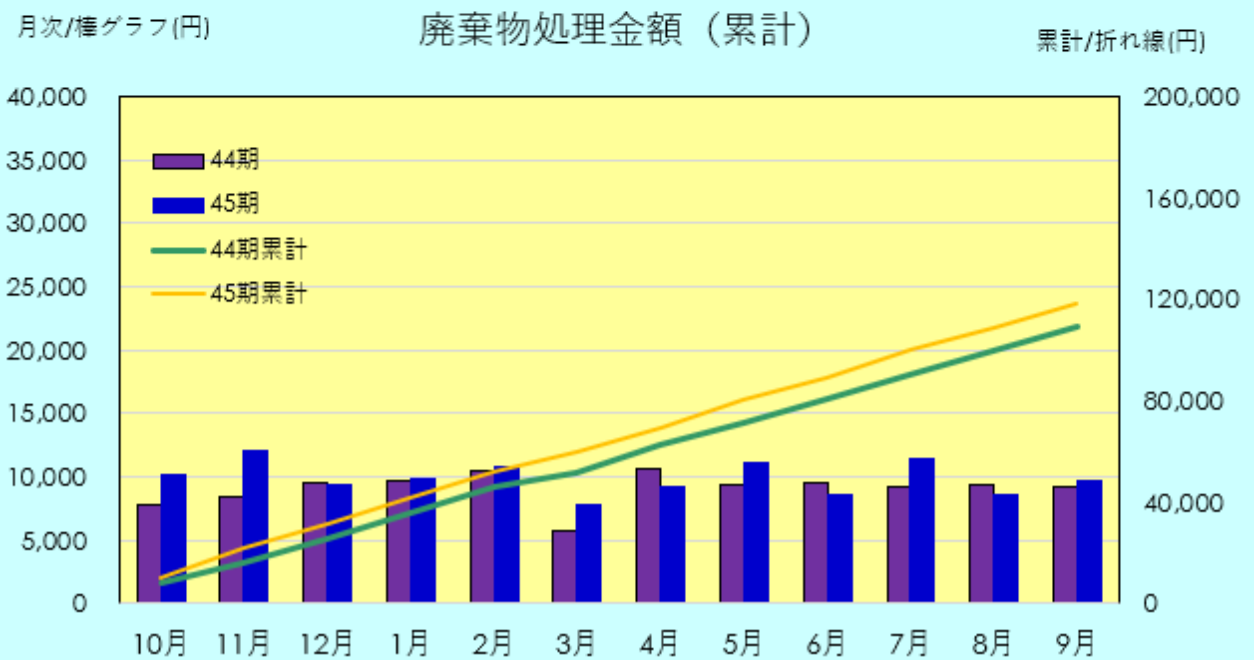
一般廃棄物 (SSD/本社)



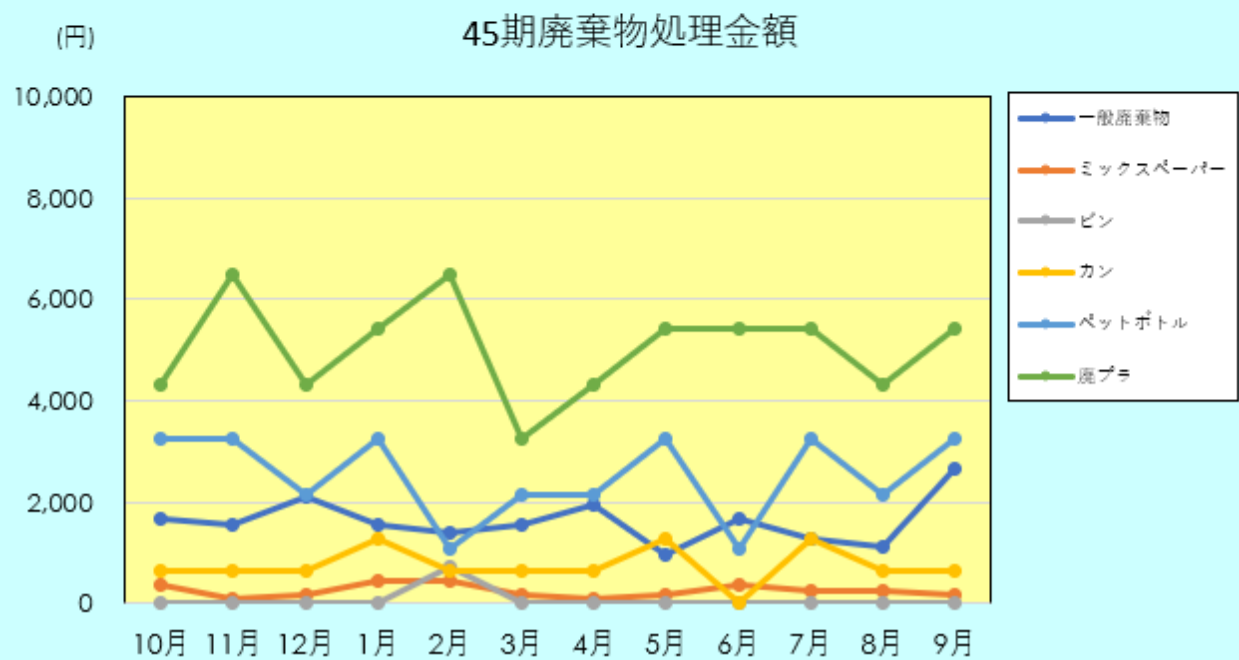
一般産業廃棄物 (SSD/本社)



廃棄物処理金額 (累計)



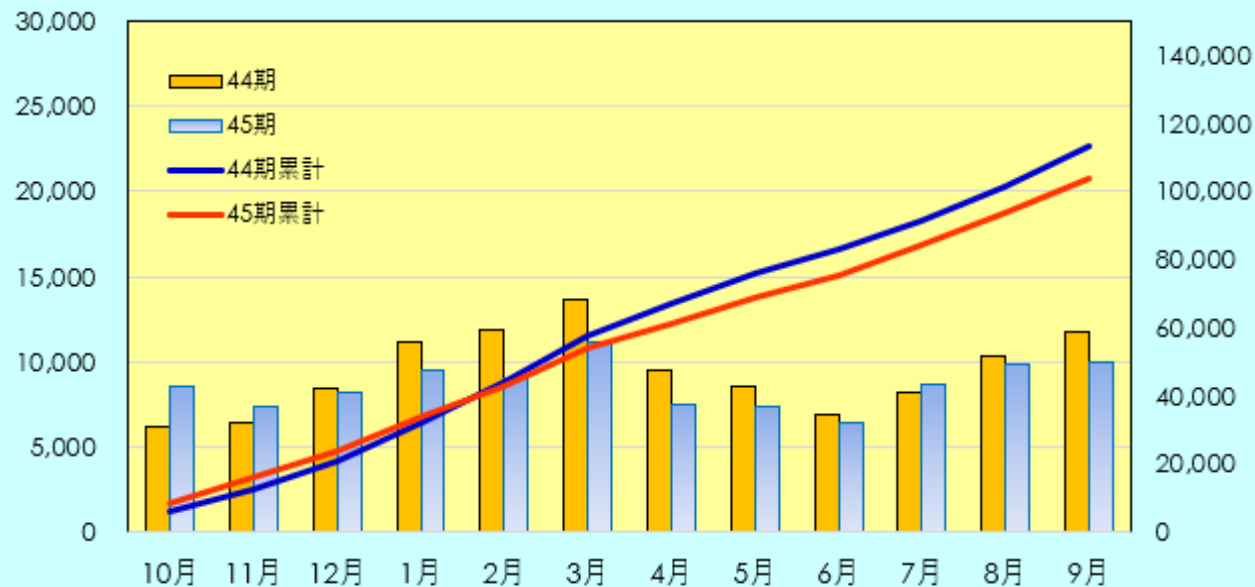
45期廃棄物処理金額



電力使用量 (SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

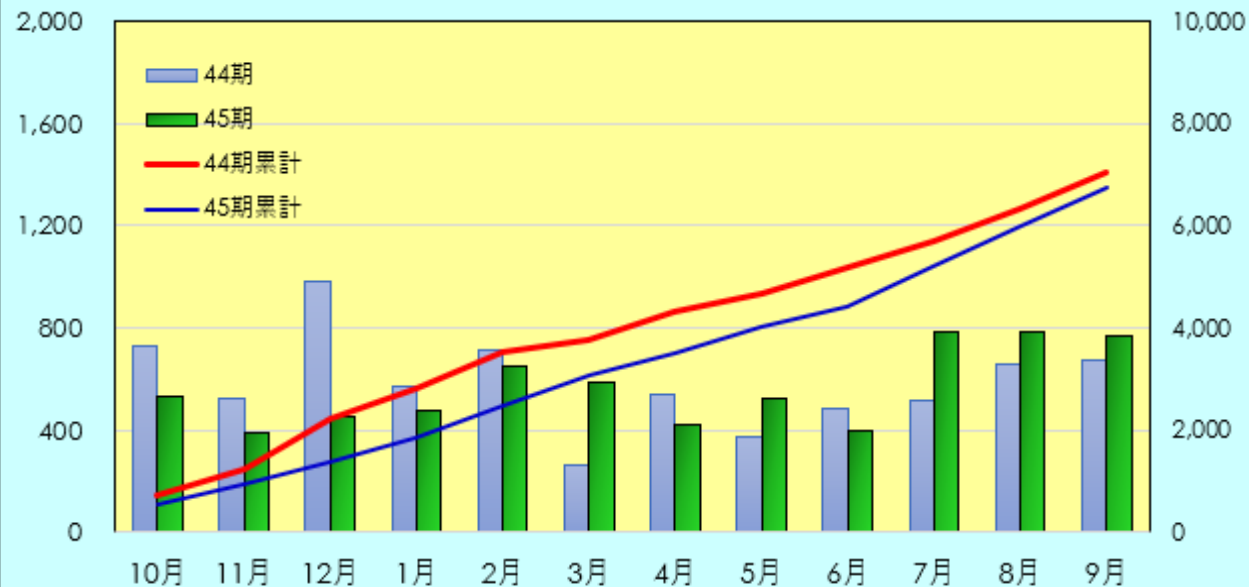
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

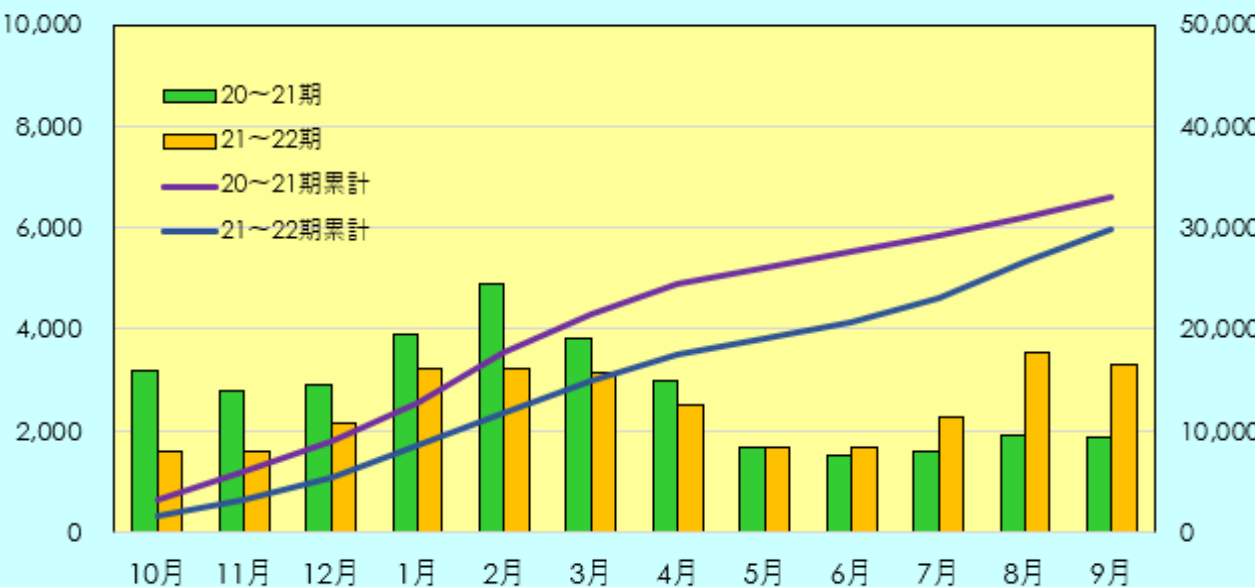
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

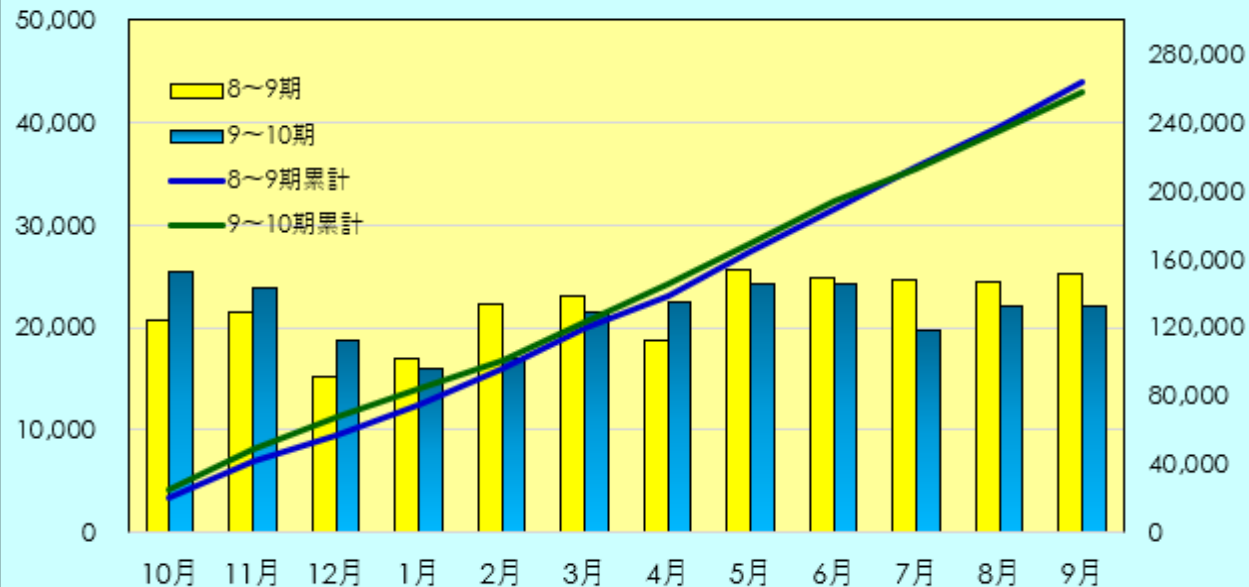
累計/棒折れ線(kwh)



電力使用量 (CSI)

月次/棒グラフ(kwh)

累計/棒折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

●サンシン電気本社エントランス 四季飾り



現在、サンシン電気本社エントランスには、秋らしい紅葉飾りとハロウィン装飾が設置されています。雛人形、桜、端午の節句、七夕、ハロウィン、紅葉・・・と季節に応じた飾りつけを行っています。飾りつけは各部署が輪番制で行っています。

エントランスはガラス張りなので外からもよく見えます。近隣の方々や来客の方々に楽しんでいただけるよう、これからも工夫してまいりますので、お近くにお越しの際はエントランスの飾りにご注目ください。



活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（9月参加人数：延べ4名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 飼い主のプロを育てる「ドッグライフアカデミー」を創設（ミタスライフ）

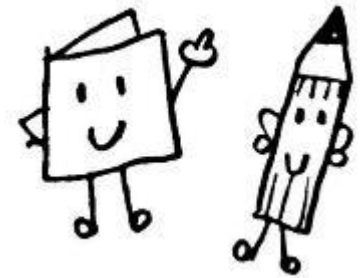


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績6名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 勤続表彰者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）⇒2020年8月「感染症BCP」を新型コロナウイルス感染予防対策も含め更新！
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2022年5月更新）⇒6年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」の認定取得（2017年～2021年）
- 東京都より「スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー」の認定4年連続取得（2017年～2020年）
- メンタルヘルスケアの一環として従業員用オンライン相談フォームを設置（海外拠点からも投稿可能、匿名でも投稿可能、秘密厳守）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・情報セキュリティ・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシングループ石井代表と選抜メンバーによる「CSV研究会」を開催中
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



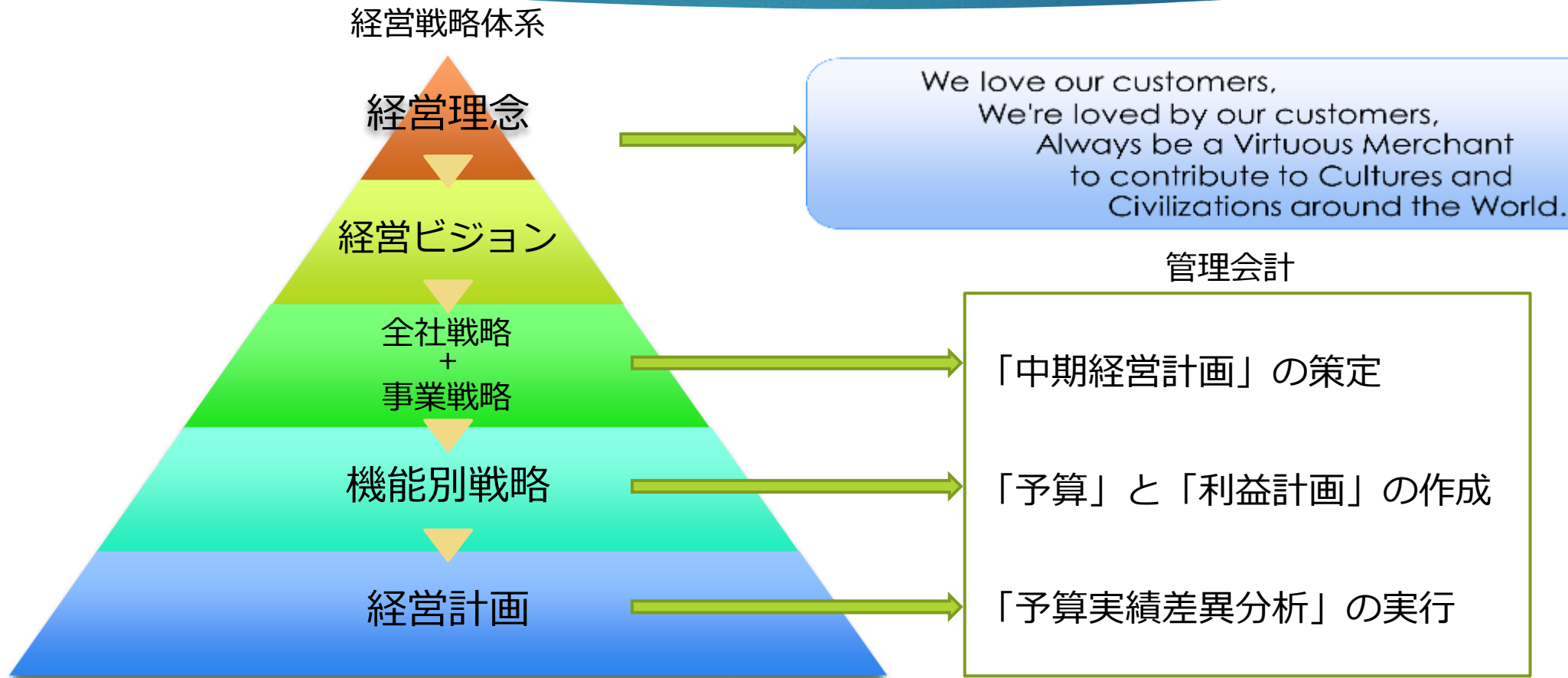
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

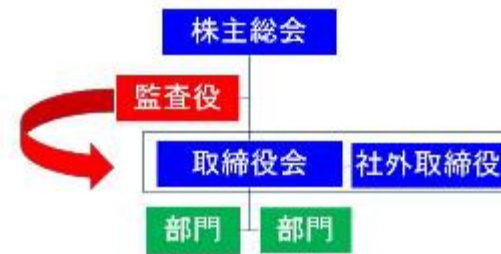
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、13ページ。

CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、14-16ページ。

サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

マネジメントシステムの基本構成

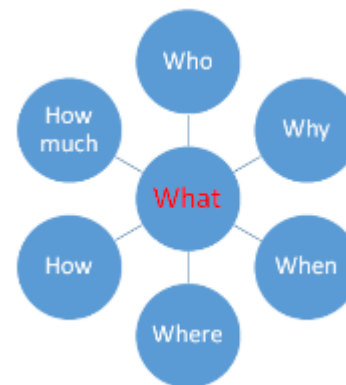


マネジメントシステムのレビュー



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、48ページ。

ビジネスの5W2H



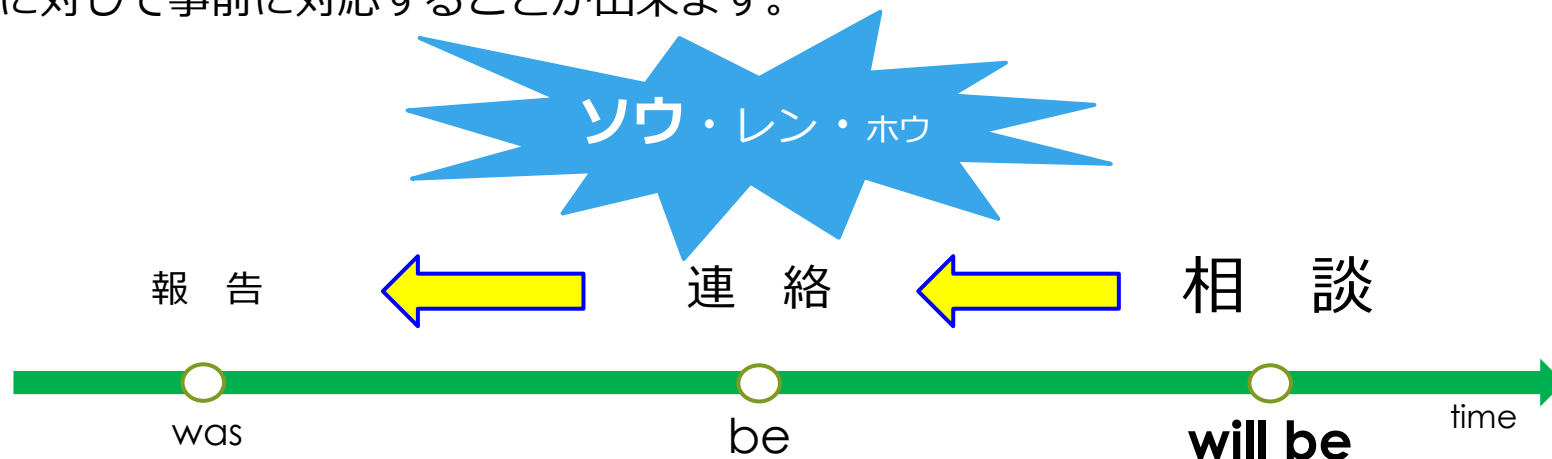
PDCA→P' サイクルの概念



出所：石井 宏宗[2019]『わかりやすい！社長が教える経営学』創成社、42ページ。

未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗[2011]『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、166ページ。



SSD, 営業管理課 Y.Y.

サンシン電気は新しい期に入りました。世界を取り巻く環境は益々混沌としており、予断を許さない状況です。いつ何が起こるか分からない時代ですが、そんな時代だからこそ情報の真偽見極、冷静な判断を以て乗り切ってまいりましょう。まずは「相談」です。今期もどうぞ宜しくお願い致します。